

# 議 事 録

会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会第2回理事会
日 時	期 日：令和2年9月14日（月） 時 間：14時00分～16時00分
場 所	天草市商工会 大会議室
議事内容	
出席者	出席理事：山本博、馬場昭治、上亜希子、松本國雄、松本英樹、金子信之、崎本弘訓、 永田章一、田口京重、濱崎宗治、田中光徳、米田揚昌 欠席理事：下田昇一郎、浜崎昭臣、山下修平、高廣宗明、松永英也、浜悦男、平下豊、 藤本貴士、下田貴久、平山高広 出席監事：田崎良輔 事務局：赤木聖一、城下聡子、大塚純子、中村彩
議事録署名者	会長 山本博 監事 田崎良輔 監事 宮崎政勝
議 題	別添レジュメのとおり
1 開会	(松本英樹副会長) 只今より令和2年度天草宝島観光協会理事会を開催します。
2 会長挨拶	皆さんこんにちは。コロナの影響台風の影響で中々皆さんとお会いできなくなり、総会も集まることができなかった。今日は出席者が半分ということでお集まりいただきありがとうございます。コロナが出てから自分の会社のことを少し話そうと思っており、理事の方々は経営者の方がほとんどだと思うので、数字を話すのが具体的にわかりやすいと思う。コロナが騒がれる3月～8月まで前年対比でいうと59,466,633円マイナス。約6千万円のマイナスが3月～8月まで分かっている。人数だと、延べ人数3月～8月までマイナス25,293人。昨年が3月～8月までで、48,222人が3店舗の来客数だったが、今年に入ってから3月～8月までで、2万5千人くらいうちの3店舗だけでもお客様が減っている。ビーフヤヒロ、あまくさ村、いけすやまもとおお客様の層がそれぞれ違い、ビーフヤヒロは焼肉主体なのでファミリー層が多く、お客様は減になっているが若干持ち

直しをしている。昨年度の8月が2,100人来店されたが、今年度は1,384人。3割減から5減となっている。あまくさ村が一番影響を受けており、不要不急の集まりがないというのが一番大きく昨年の3月～8月までで17,861人。今年は3月～8月までで6,331人。いけすやまもとが1万人近く減となっているが、8月に関しては昨年度が4,141人の来店数で、今年度は1,000人程減となっている。減り具合からいうと外からの入込客が減少しているが、地元も中々動いていない状態で私達飲食店だけでこれだけ減っていると、飲み屋さんはお客さんが減ってるんじゃないかと感じている。本渡ではコロナの影響で飲食店辞められたところは少なく1軒くらい。よそからの入り込みも少ないが、人が動かないことがいろんな商売影響をしているだろうと思う。そういう中に観光協会としてどういうことができるのか、来てくださいというのが難しいので中々理解を得られにくい。今だにコロナが出るから天草に入れてほしくないという方がいらっしやる中で、地元の方に理解して貰いながら観光を切らさないようにお客様を呼んでいかないといけない。それぞれ皆さんの所でもいろいろな影響を受けていると思うが、少しでも島外からのお客様が増やし、経済を回していくようなことができるように色々な事を考えていきたいと思っている。今回は予算並びに計画の承認ということになるので、スムーズな議事進行のご協力をよろしくお願いいたします。それと今までの県、国から観光に対しての助成等があったが、今後は天草市も色々と考えていただき、議会で承認された部分もある。それを市だけで考えるのではなくて観光協会にも一緒に考えて欲しいとのことなので理事の皆様のご意見をいただきながら、より良い予算の使い方により広く恩恵が受けられるような形で使っていただけるよう皆さまの意見を頂ければと思っている。最後に毎回事務局と話をしているが、理事の出席が少なくて理事会が成立しない。一般社団法人なので理事の半数が出席をしていただかないと理事会自体が承認されないで、できるだけたくさんの理事の方に集まって貰いたいと思う。見て貰うと分かるように、欠席の理事の方が多いのが現状。出席して貰える理事を選んでいただく。そういうことも含めながら理事の在り方も考え直していかないといけない時期に来ていると思う。観光協会の内部の改革等も進めていきたいので皆様の知恵をお貸しくください。今日はよろしくお願ひします。

#### (1) 令和2年度事業経過報告

(事務局 大塚)

1ページ目。6月～8月までの事業報告。天草市民限定プレミアム付き商品券の販売を6月13日～6月25日までしており当選者は明記してないが、707名当選する形になっている。次に天草市地域の魅力再発見キャンペーンが天草市からの受託事業で実施している。およそ受託金額の90%を利用する形で今報告書を出している。次にGOTOトラベル開始前に、想定される対策セミナーを実施した。じゃらんリサーチセンターの森永さんに来て貰い、参加者が17名。次に新型コロナウィルスセミナーと題し、新型コロナウィルスが万が一発生したと想定しセミナーを8月19日水曜日、ZOOM及びポルトのリアルで約40名が参加して実施を。また新型コロナ対策特別委員会を開催した。会員さんに呼び掛けまして委員21名、オブザーバー1名、合計22名を組織し、6月26日金曜日ZOOM及びポルトで会議をした。その後アクティビティの事業者だけの分科会を開催しており、イ

Instagramで共通のハッシュタグ、天草遊び体験のハッシュタグをつけて天草の遊びどんなものがあるのか情報発信。現在ハッシュタグ天草遊び体験ですが、110投稿されている。2ページ目。天草支部で海開きが行われた。6月21日日曜日白鶴浜海水浴場で海開きを実施。天草での思い出写真買取キャンペーンを実施。昨年も実施したが、今年度はハッシュタグ天草写真2020ということで、今現在応募を進めている。現在の応募総数は479枚となっており、昨年は1,000枚で78枚買取をしている。天草伊勢えび祭りが8月21日からスタート。現CM112本、KKT、TKB、TKU、RKKでメディアの放送が9月を中心に行われている。あまくさ井井フェアが9月1日から今年で20回目スタート。8月29日ポルト3階多目的ホールで試食会を開催し、今年度はテイクアウトのメニューも追加された掲載内容になっている。御所浦の化石採集クルージングは、熊本県からの受託業務として実施し、今年も8月1日から9月27日までの間で開催。今回コロナの影響もあり、熊本県民限定で実施している。8月1日～8月31日までの実績なんです、88名の参加で28便の運航になっている。(昨年は458名の参加)

(総務専門委員会委員長 松本國雄理事)

8月25日に総務専門委員会を開催し5名に出席していただき協議を行った。今年度の事業計画、予算の承認について天草市の観光振興課と事務局との協議により新型コロナウイルス感染症で実施できなかった事業費について来年度に繋がることであれば、変更可能であるとのことで委員会で検討した。五和支部では全会員へアルコール消毒液とマスクを購入し配布した。また、新和支部は天草市内の小中学生を対象としたマグロウォッチングの体験の招待事業を行う予定。市へ返金するより各支部で支出をした方がいいのではないかと意見があった。また、支部で残りそうな予算がある場合は本部で支出可能である。9月30日までに変更の予算書、事業計画書を各支部より提出して貰う。10月、11月のイベントについては実施できなかった時の案も考えておく。支部予算作成に伴うルール作りについては本渡、牛深、天草支部欠席のため決めることが出来なかった。本渡、牛深は会員が多いが少ない支部は予算が組めなくなる、この機会に事業の見直しをする等の意見があった。新和支部は民泊業者への入会をお願いする。10月初旬に天草市へR3年度の事業計画(案)・予算(案)を提出予定。支部予算は今年度並みの額で組んでいただくようお願いしたい。また事務局長の任期について、漁協・商工会は60歳定年、その後5年間は継続雇用が可能である。ただ、会長が理事会に諮り任命すること。現在の職員規程第29条、第30条をそのまま適用する。ことでいいのではないかとのご意見があった。

(事業委員会委員長 田口副会長)

事業委員会では4人の理事を交え協議をした。皆様もご承知の通りWithコロナということもあり、もともと事業委員会では食を最大限に生かすという意味だったが、天草生うに三昧のスタートと同時に天草でコロナ第1号が出たこともあり、行政の施策の中どうやるかということも踏まえスタートをした。今天草伊勢えび祭り、あまくさ井井フェアが稼働を始めたところで、今後天草における明るい兆しになるのではないかと期待をしている。委員会としては、それぞれの事業を今年の反省を踏まえ事業を推進していくということと、それぞれの事業をWithコロナでどのように

**(一社) 天草宝島観光協会**

していくかということ、会員が500強と聞いているんですが、できるだけ会員の方が広く地域性を加味して潤うような事業ができないか。商品券の発行もあったのでその様な対応ができないだろうかということで予算を計上している。理事からの意見の中に受益者負担の原則に立ち返り将来的に決めていくことを前提に、あまくさ井井フェアの会員については、売り上げの数%かをいただいている状況なので、できればそれぞれの事業の委員長と話して受益者負担の原則に立ち返りながら、集まったお金に関しては事業の中で議論して貰うということでどうなのかと、意見を聞きながら調整をしていく必要があると思う。以上3点協議させていただいた。ご審議の方よろしく申し上げます。

(馬場理事)

コロナ特別対策委員会について報告。対策委員会立ち上げすぐ県や市の宿泊補助とかの施策がありましたので、来客の回復がなかなか難しくまず、アクティビティの分科会を開いて議論を進めている。天草に来て泊まるだけ、食べるだけでは長期滞在には繋がっていないこともあり、実際に話をしてみるとアクティビティ自体を皆さん知られていないし、業者も誰が何をしているのか分からない。横の連携が全く取れていない。観光協会自体もアクティビティに関しては全く事業という事業をしていなかったの、今回しっかり深めていく。まず会員さん向けに体験ということでご案内をしている。まずどんなことが天草でできるのか、知ってもらい周知していこうと思う。後は宿泊キャンペーンもですが、GoToキャンペーンもですが宿泊の結果を振り返りながら民宿、飲食店が厳しいということで、これからコロナ対策として考えていかなければならないと思っている。具体的な内容などあれば決めていければと思う。事務局中心となりコロナが宿などで発症した時にどうすればいいのかという勉強会を40名程集まり開催したが、非常に効果があったと思う。その後ポルトでも出たので実際に観光協会も含めて勉強会を基に対策を立てたお陰で全く影響がなかった。風評被害はあったが、感染者を広げることもなく、非常に勉強になった。今後のコロナ対策特別委員会として対策について勉強していく仕組みを作っていく。

(事務局 赤木)

先程の田口委員長から報告のあった井井フェアの参加費ですが、今年は売上ではなく席数、キャパシティに応じての参加費になっている。

(濱崎宗治理事)

支部予算は毎年事業計画通りに進まず消化しているが、残ったから消化するということではなくて、事業で足りないのであれば組み替えてやるのが多い。五和支部が消毒、マスクを配布したとのことだが、私は手に入らない時に旅館組合、観光協会、天草支部と協議し宿泊施設だけでも手配した。今は手に入るの、わざわざ消毒とかマスクを買って配ることないし観光協会がすることではないと思う。どちらかと言えば島外からお客さんを呼ぶための予算に使うべきである。支部予算についても歴史勉強会をしているが、今回コロナの関係で開催していない。歴史勉強会の

中で西海岸のクルージング試乗会をしたい。「伏魔洞」は非常に問い合わせが多いのでどうしても観光地にしたいので明日会議する。苓北観光汽船の船が1日船長も含めチャーター出来るのでマスコミ関係、旅館、行政関係者へ案内をする。今年度やるのではなくて、来年度のためになる。どういう再発見があるのかという予算の変更に使わせてもらいたい。もう1つ市が発行したプレミアム商品券で個人会員は参加できないということで、決定事項ということで事務局が案内も出してないということがあったので、事務局へ電話した。まず会員であれば当然だと。5,000円と10,000円でコロナ対策といいながらなんで差をつけなくてはいけないのか。理事会の決定事項である。何を考えているのかと聞いたら、パワハラと、ある面では賛助会員の人は認め、地元の人には認めないと、なんで賛助会員は認めるのかと聞くと理事会で決定したと、その理事会私は出席だったら絶対反対していた。なぜ市の予算で、市内の業者が利用できないのか。賛助会員が参加できるのがおかしい。事務局も理事会で決定したとかあなたは理事の意見は聞かなくて会長の意見しか聞かない。もう少し理事の意見を聞くようにしないといけない。検討しますと言って、会長、副会長会議で決まりましたのでダメだと。もう少しちゃんと考えてコロナ対策の予算なので、観光協会として会員のことを考えるべき、会員であって参加できないのはおかしい。2億のコロナ対策の予算還元されてるのはどこか聞いたところ小売業、飲食業、旅館業、夜の社交クラブあたり。飲食は伸びている。産交がほとんどを占めてると聞いた。市役所に検証して貰い、どこで使われたのか、コロナ対策ではなくて経済対策になってしまっているが予算はコロナ対策なので、そういうところも観光協会もう少し考えるべきである。観光で落ち込んだところでは使用されていない気がする。

(会長)

たくさん言われたので最初の方があまり浮かばなくなってしまったが、観光協会は理事会が大事で、理事会で決議して決めていくのが筋なんじゃないかと思っている。理事は理事会に出て、発言をする権利があり、理事会で決まる時には、当たり前のように意見を出すことができるので、各支部から代表であれば、支部の皆様の意見を背負ってきているので、理事会に来て発言をして貰うことが一番なんじゃないかなと思う。本渡支部長でこの理事をさせていただいた時も、理事会で発言をすることはありましたが、そこで決まったことをその後会長、事務局に言ったことはなかった。そこは認識の差だと思うので、他の理事にも意見を聞いてみないといけないが、理事会で話合っ決めていくという形にしていくのが、本筋ではないか。2億円のコロナ対策と言われるのが、どれのことなのかというのが私には分かりにくかった。

(濱崎理事)

(天草市の予算で発行の商品券) 購入額が20万円までが上限で、商工会、商工会議所等で発行された券。

(会長)

**(一社) 天草宝島観光協会**

コロナ対策ということで市から話があった時には、飲食も、宿泊も苦しいが他の業種もたくさんコロナで影響が出ているので、広く天草島民の方々を助けるために使いたいの、観光業だけではなく、商工会、JA、いろいろな業界に手を挙げて欲しい。組合がなかったり、団体ではないところは、5社以上が集まって団体を作り手を挙げて貰えば参加可能であると説明を受け、観光で大変なので私達もお願いしますと話をした時に、平等性ではないが会員数に応じた割り当てを行うと言われたので、会員数上限いっぱいまで観光協会としてはさせていただいた。それについてもっともっと観光業、宿泊業だけにしてくれと、天草市長さんと話した時に私には言えなかったというか、おっしゃることが道理、本筋かなと思った。上限いっぱいまで予算が余ると思うから2次募集もするとのことだったので、その時には募集させて欲しいと話したが、2次募集は申込みなくなった、そこは私達の力不足だと思うが、2億円のコロナ対策については、観光協会はきちんと認めてもらった団体だったと私は思ってる。それをどういう風に思われているのかはそれぞれかなと思う、なんとも返答がしづらい。全然交渉、折衝に行っていないというわけではなく2億円の予算があるとされた時には、事前に天草市にも打合せに行きお願いした。というような返答しか理事の皆様方には言えない。

(濱崎理事)

2億のコロナ対策予算で、使用されたのは太陽、飲食店などで旅館とか宿泊業効果がない。経済対策にしかなってなかったのでは。観光協会として努力しなくてはいけないとかそういうことではなく、今後コロナ対策であれば考えて、今後は市に交渉して欲しい。5,000万円の予算で天草地域の魅力再発見キャンペーンは市民の方には6,000円、県内向けが4,100円の補助をした。7月に若干よくなったというのは市の予算、熊本県のくまもと泊まろうキャンペーンがあっていい方向が見えてきたが、コロナがあり落ち込んだ。今後の課題として経済対策ではなく、コロナ対策として島外から呼び込むという予算であれば、今後のことを言ってる。市の方に検証してもらい、推移を出し実際どこに使用されたか検証すべきではないか。支部の予算を今後使えないので返すのではなく、組換えをさせてくれと言っている。

(山本会長)

組換えについては、市の承認を受けている事業の場合組み替えるのは難しかったが、紐づき予算ではないが、こういう事業をするので認めると10月に出す事業の計画で認められた予算なので、変更することが難しかったので事務局も他を変えてOKだというのは難しい状況だった。コロナでできないと事務局側も市と折衝しているので、今回に限っては、コロナの対策で他の形に変わってもいいと、今の段階で市からはお墨付きを貰っている。五和支部でコロナ対策として事業を変えたのはOKと言えるが、他の事業に変わってもいいのかというのは今折衝している段階。どこまで認められるのかというのは、正直ここでは言えません。おっしゃるように同じ目的であれば、内容を変えるのはある程度いいのではないかなと思ってるので、逆にかっちり決めた内容で出すのではなく、研修とか大きなくりにして、細部を変えるとかやり方を変えるようなことを支部とも

**(一社) 天草宝島観光協会**

話をしていけないといけないのではないかと考えていて、本渡支部の時は全部事業名で出していたものを、海のキャンペーンとか食のキャンペーンとか大きなくくりのキャンペーンで出すように変えた。そうすると内容を若干いじれるなど事務局と話をし、そういう風に変えて井井フェアという名前で食のキャンペーンで100万とか申請をして内容を20万別の事業をしていたので、抜け道がないとか、やり方がないかというのは支部の皆様とも話をしていけない、今回に限ってはコロナ対策で割と市の方も寛容に他の事業に変えてもらってもいいと好意的。各支部の方でいろいろと考えて貰い、別の事業をやってコロナでできなかったのを、来年再来年を見据えて事業をやりたい。理由があればこちらも市に折衝しやすいので、こういう事業を組み立ててやるというのはコロナ禍の中では通りやすいのではないかと、ただ市がダメと言われたらダメです。市が認められた予算の中で、市が認めないとされたものを執行するのは中々難しいので、事務局を通して折衝していきたい。今回キャンペーン予算をいただいたお礼に、事務局と一緒に天草市長にお礼と今後の話合いについての時間を設けて貰ったのでその時にも話をさせていただこうと、コロナで予算執行できないので、コロナ対策を含めて事業を変えていきたいので多めに見て貰えないかお願いをしようと思っている。

(濱崎理事)

コロナ対策ならば、お客さんが落ち込んでいるのを何とか食い止める。来年度事業に向け、歴史勉強会と西海岸の「伏魔洞」など知らないところを見て貰う試乗会を計画している。

(会長)

今言われたように歴史勉強会と大きく括っているのであれば、内容を変えるのはいいんじゃないかなと私は思う。

(事務局 赤木)

先程、松本総務委員長からの説明の通り、基本的に今年に変更OKということで承認は頂いているので、変更し9月末までに事業計画と変更計画と予算の執行状況を提出して貰い、その中でできないという事であれば返して貰い、どうするかというのを協議できればと思っている。

(松本國雄理事)

有明の場合は、いろいろなイベントができず、有明で組まれている予算が消化できないため、何か使う方法がないか会員全員で報告会をしようと思っている。昨年度の報告も併せて会員に対してどのようなことが出来るか、タコの宣伝会も何も行っていないので予算を変更して、この中でもなにか会員にメリットのあるものができるか検討をし報告したいと。コロナがいつまで続くのかは分からない。会員あつての支部なので、今まで協賛をして貰い、お返しが今までできていないので、一番恩恵を受けているのは民宿組合で、他は道の駅ぐらいしかないのでは、どうしていくものかと。今年は観光協会の会費は徴収しないので、この際予算を使って会員にメリットのあることができないかなと考えている。

(馬場理事)

今いろいろとお話があったが、コロナによって予算が執行できないのは不可抗力であり、誰の責任でもないので、今後の為になるものであれば間違いなく認められると思う。ぜひどんどん考えていただいて使わせていただくと。無駄なものに使うのはもちろんダメだと私は思う。

(2) 令和3年度事業計画ならびに予算について

(事務局 赤木)

資料の3ページ目。今後のスケジュールについて共有。今日の理事会の後來年度の事業計画並びに予算についてを承認していただき、それをベースに10月上旬から天草市と折衝して次年度の補助金の部分、受託の部分が決定していく流れになっている。この後12月23日に理事会、3月29日に途中経過の報告、次年度の予算の承認になる。4ページ目。令和3年度一般社団法人天草宝島観光協会基本方針ウィズコロナに備えるということで、コロナの影響により大きなダメージを受けている観光業、観光スタイルや受入態勢、おもてなしスタイルが現状変化を求められている。その上でウィズコロナにおける観光を考えさまざまな事業を実施していきたいと考えている。1つめが感染拡大防止に最大限努力する。ウィズコロナに対応した観光事業を実施する。3つ目に組織運営についてもWEB等を活用して情報共有をスピーディーに行う。会議開催方法など今後スピードの向上を図っていくというところで考えている。

(事務局 大塚)

資料5ページ 1観光宣伝及び観光客の誘致。1各種キャンペーンの実施及び販売活動推進、こちらは本年度と変わらず食のキャンペーンを年間通して行う。但し先程田口副会長からもあった通り受益者負担の考えを入れながら実施。次に、国のGOTOトラベルキャンペーンに合わせ旅行会社へのセールス活動を例年実施していたが、現在旅行会社へのセールス活動の方法が変化をし、商談会や現地セールスもほぼ0になっている。こちらの50万円の予算が、旅費として計上しており、現在情報提供する形で、旅行商品の造成を呼び掛けているので、この後で説明。コロナウィルスの対策会議へ予算を計上。新型コロナウイルスによる観光客、観光消費額の減少に伴う対応経費及び、収束後の対策費ということで多くの会員施設が恩恵を受けるような事業を展開、321万円予算を計上。次に事業予算各支部の予算になるが地域の誘客事業、各支部の事業の実施は変わらずで、各支部の事務局委託費が今年度運営費の方についているが、度事業費の方に165万円計上。6ページ目。変更点として、誘致促進展開、当協会のSNSを利用し、情報発信をしているが、フォロワー数もある程度増え、こちらは先程紹介した新型コロナウイルス対策経費の方へ集約するという形にしている。観光に関する調査研究並びに情報の収集提供、観光客受入態勢の整備、観光関係諸機関との連携強調は今年度と同じ。7ページ目。業務受託分の説明。1観光宣伝及び観光客の誘致のメディアを活用した情報発信、新型コロナウイルス感染拡大防止で同行するということが激減しており、情報提供はこれまで通り実施する。同行することによる体験経

費等の同行費がいらなくなったのでこちらを0で提案。次に観光資源開発及び保護育成こちらは変わらず。3観光客受入態勢の整備、観光案内所の所、金額の変更なし、毎週火曜日定休日をつけてはどうかという提案。今現在牛深の観光案内所に臨時職員を1名配置しているが、週2日休みの日には本部より山崎が出勤し業務を行っている。業務を集中させるためにも毎週火曜日定休日をつけてたいということを市と交渉したいと思っている。情報媒体の作成は変わらず。8ページ目。外国人観光客の誘致、新型コロナウイルス禍において、外国人の観光客は日本に入れないような状況、新型コロナウイルスの感染収束を見込み外国人のニーズの把握や受入態勢を整えるということで変わらず予算化。自主事業は、旅行商品の販売事業500万円予定、今年度新型コロナウイルスの影響を受け、ツアーの影響も落ち込んでいるため、こちらも減額。併せて広告収入のところ、こちらも当初200万円程度見込んでいたが、当協会会員の飲食店、宿、小売業者だったりダメージを受けているということで、9月いっぱいまで0にして掲載しているが、10月以降に向けて広告収入をいただくように今営業しているが、中々厳しい状況が続いているため、来年度も当初予定よりも広告収入減額するのではないかとこのところ225万円の事業収入の見込み。9ページ目。今説明した予算を反映したもの。

(濱崎理事)

火曜日休みという事は、週休2日制。

(事務局 赤木)

牛深の観光案内所のこと。

(濱崎理事)

だったら別に。本部の方かと思った。

(山本会長) (1 : 21 : 40)

牛深の場合は(委託事業として)組み込まれて運営しているので、牛深で雇用している職員が休みの日にはこちらから職員が行っている状況。そのため市に折衝しようと思う。

(永田理事)

(補助金の運営費) 委託費の税理士報酬がかなり下がっているが何か。

(事務局 城下)

これまで支部の事務委託費を運営費の委託料で計上していたものを来年度より事業費で計上。

(永田理事)

税理士報酬と書いてあるものだから。わかりました。

(馬場理事)

予算についてはこれで市に報告する。

(各理事)

異議なし

(3) (一社)天草四郎観光協会との意見交換会について

(会長)

コロナ禍の前に、上天草との情報交換会をしようということで1度理事の皆様方にも話をし案内をかけていたが流れ、先月上天草から1回事務局で集まって話をできないかということで話をしして来た。できれば理事の方々の意見交換会行えればありがたいが、コロナ禍で30人、40人集まるのは難しいと思っはいる、同じような課題を抱えたり、情報交換は大事だと思うので、まずは三役レベルで情報交換の場を持たせていただき、コロナの先行きにもよりますが理事に案内をし天草四郎観光協会との意見交換会をさせて貰おうと思っている。どうしたいと思っているかを理事の皆さんにお話ししていきたいと、今回議案に入れさせて貰った。具体的な日時は決まっていないが、今回私と事務局長2人でお邪魔してお話をするくらいだったので、次は三役の皆様方に声かけをして、向こうの三役にも集まって貰い、その後理事の皆様にも同じような流れでしていきたいと思っている。まず理事の皆様にも報告をしておいた方がいいと思ったので。先程予算について天草市コロナで変更可能と受けているが、天草四郎観光協会に聞いたところ、まだ許可を貰っておらず、コロナで中止になった分すべて市に返金になる。そういう所もお互い違うと。私達も上天草市で進んで、天草市で進んでないような部分もきちんと情報を収集し、天草市長と、各課と話をする時に材料にしていきたいと。まだ具体的な日にちなどは未定だが皆様にご案内をするので、ぜひ出席し意見交換をして欲しいと思っている。

(濱崎理事)

天草四郎観光協会との意見交換会悪くはないが、テーマを決めてやった方がいいと思う。例えば、天草1つということで、苓北町、天草市、上天草市で年1でやろうかと。テーマを決めてやることに意味があると思う。

(山本会長)

ありがとうございます。そういう事をやりたいなど事務局レベルでは言っているが、会長同士の具体的に話はまだまとまっていない。苓北町まで含めてとは思っているのですが、ぜひ進めさせていただきたい。ここでは言ってるが中々会としてなっていないのでありがたい。

(馬場理事)

**(一社) 天草宝島観光協会**

では会長とで進めていただくということで、まずは三役、その後時をみて理事の方々とできるように、どうやって作りだせるのか今の状況の中で分からないが、こういった形で進めさせていただきたいと思う。

#### (4) 新規会員・退会について

(事務局 城下)

10ページ。(有)太陽電気工業所、天草大王地鶏のたぐち、(株)ソルヴィア、居酒屋藤屋、お茶のほりぞえ芳香園、叶奏が本渡支部。天草漁業協同組合新和支所が新和支部。退会は報告になる。(有)ソルトファーム、(有)ウルトラハウス、吉浦商店、平野精米所、以上。

(馬場理事)

退会に関しては、報告ということで、正会員の入会の申請ですが、7か所承認してよろしいか。

(各理事)

異議なし。

#### (6) その他

(事務局 赤木)

最初に、観光商品券どこで使われているのということで、青色とオレンジの観光商品券2種類流通しており、オレンジ色は先程あった天草市が総額2億円でプレミアム付き商品券を各団体販売していいというので観光協会も手を挙げて5千万円分を発行したが、天草市民しか購入することができなかったので、正直データとしては参考にはならないので、オレンジ色の商品券は結果を共有させていただき、今回は青色の商品券のデータを共有させていただき。グラフを分けており、青色の商品券がどこで配られているかという、8月上旬まで天草市の宿泊施設を対象に宿泊された方に商品券をプレゼントする天草市地域の魅力再発見キャンペーンを行っていた。そこで商品券を発行している。それプラス九州産交ツーリズムと天草市が天草満喫キャンペーンで1泊された方1人に2,000円分商品券を発行しており、合計13,000万円ぐらい流通をしている。このデータはそのうちの600万円分が使われているので、そのデータになる。割合としては、ご覧の通りですが、一番多いのが小売り。お土産店であったり、グリーントップ、とれたて市場、道の駅が小売りに入る。その他の飲食、宿泊。飲食・レジャーが、具体名を出させていただくんですが、天草海鮮蔵、丸健水産、などセットで販売しているので、実際には飲食なのか、レジャーなのかこちらでは区別できないようなお店を飲食レジャーに含めている。レジャーというのが、イルカウォッチングだけの事業者だったり、スキューバだけとか、魚釣りだけとかの体験事業者になる。交通はタクシーとかになる。この様な状況の中、最初会長からあったが、天草市から先日の議会で5,000万円分観光振興に新しく使う予算として議会で通っていて、こういった使い方をするか全く決まっていない5,000万円分が議会で既に通っていて、その使い道をどうするか観光協会

情報なり提案があれば、ぜひ教えてほしいと話をいただいた。事務局としては皆さんの所に情報のヒアリング、データで見ることしかできないが、5,000万円の使い道、私達に決定権はないが、どうしていった方がいいかご意見であったり、決め方等も情報があれば教えていただきたい。

(馬場理事)

天草市から5,000万円今までとは全く使い方が別で、予算を市が取ってくれてるということ。どういう風に活用していくのかと、理事の方々と協議をしていく必要があると思う。この場で決まらないとは思いますが、皆様方からの意見を出していただき、それを基にたたき台を事務局で考え、皆様に共有して決めていくという流れになっていくと思う。この場ですべて決めるのは難しいと思う。

(濱崎宗治理事)

この予算は早い段階で観光課、副市長あたりと協議してきた。天草市のやってる天草満喫キャンペーンが11月末まで。GoToキャンペーンが1月末までになっているが、その後の対策として考えてくれと3か月前からお願いしている。5,000万円というのはいま初めて聞いた。GoToキャンペーンを冬場、コロナはずっと付き合っていないといけないと思う。今は旅館の大浴場は、遠慮しがちで4.5人の家族湯、貸切湯、離れ形式など共有ペースを利用しない様にしなければ。金額が大きいので市の補助はないのか。今の市のコロナ対策費150~200万なので、500万にして貰えると経費等賄える。今後の課題として市に要望することも観光協会として必要。うちは情報発信をしているため産交の商品は6割がうちの利用ではないか。7月から良くなると思っていたが、熊本でコロナが発生した。お盆明けから伊勢えび祭りのCMをやってくれているので、効果が出てお客様が多くなってきた。9/15で広告が終わるので、市に伊勢えび祭りPRとして別に300万円予算をお願いしている。

(松本國雄理事)

お客さんが利用しやすいようなことに利用出来たらいいと思う。

(山本会長)

今質問あったように、今年度なので来年の3月31日までに集計して結果がないといけないので、秋から冬にかけてのキャンペーンになると思うので他のキャンペーンと重なると分かりにくい、キャンペーンがないところにスポットを当てるのが一番いいんじゃないか。3つも4つも増やすとなるとお客様も大変だし、機会も逃すんじゃないか。使用結果を見てもらうと、どこでも使えるとなるとレジャーに全くないか。阿蘇地域などでは、レジャーに1,000円、飲食に1,000円、お土産に1,000円、3,000円つけるとしても1,000円ずつ別々に使わないといけないような色付きのものにするとか、そういう風になると必ず使わないといけないので、先程濱崎理事が言われたように、どこが恩恵があって、恩恵がないのかを見ていくと、私達でもわかりやすく、本渡の場合

は飲食はあまり観光に頼ってない、ほとんど島内需要なので、商工会議所のまごころ商品券は、元気玉プロジェクトの独自のものがものすごく利用が多い。観光商品券の使われている率うちで3倍ぐらい元気玉プロジェクトの方があり、始まって1ヶ月経たないぐらいで130万から140万くらい執行している。アクティビティの話もあったが、そういう所に力を入れるとか、宿泊でも民宿に充てるとか、大きいホテルに充てるとか全体ではなくてスポットを充てられる様なのを考えて市に提言する方が市も分かりやすいのではないかな。そういうデータは私達しか持ってなくて、分からない部分が多いのかなと思う。できればそれぞれの所でこうしてほしいとかあれば、それを出していただいて、まとめあげていければいいかなと思う。宿泊してもらうのが一番効果が高いので宿泊を中心にしないといけないと思う。宿泊自体もいろいろあるので、客層も違うし、データ化して組み上げができるようになるといいかなと思っているが、中々時間がないので、できるかどうか分からないが、只冬のレジャーが強くないので、自分たちが遅すぎたかなと思う、そういう風な事を考えていかないと同じような予算の消化の仕方にならざるを得ない。できればそういう話も挙げていただければ、特に私は本渡なので周りがわかり難い。落ち込んでと言われる、外程は落ち込んでないと思う、そういう話を理事の方々から出して貰えたら組み立てやすいと思うので、アイデアを考えて意見を出していただいて、それを基に市と折衝を行えるようにしていきたいと思うので、それぞれの実情、自分のいらっしゃる業界とか、自分のいる地域の実情を踏まえた上で出していただければ、スポット的にも今回は一番いいのではないかなと思っている。その後のことは後で折衝はしていかないとはいえないと思う。

(濱崎宗治理事)

この商品券を20%券を持ってきて宿泊に利用したというわけではない。飲み物とか何かに使ったのではないかな。宿泊して旅館で飲み物に使った分だと思う。宿泊で使われている訳ではない。

(馬場理事)

宿で配られても宿泊代金には当てられないんでしょうね。

(濱崎宗治理事)

「もっととまろう」それで泊まってる。券は飲み物に利用し、宿泊費ではない。

(馬場理事)

聞いている中では高額な宿がどんどん埋まっていっている状況のようだ。

(濱崎宗治理事)

五足とか3万、4万の部屋がしっかり埋まっている。

(馬場理事)

昨日テレビでも言っていたが、ビジネスホテルとか民宿とか6,000円~7,000円の所が全然お客がない。GoToの恩恵が全く受けられていないと。その辺の数字が観光協会でも少しづつ集計していきながら

(濱崎宗治理事)

冬の天草満喫キャンペーンは良かった。前年対比115% 阿蘇や玉名の方が天草は食材、景色などが良く羨ましがられる。沖縄などに行けないためこちらへ来る人が多い。

2日くらい前、GoToトラベルの熊本県の事務局が日本旅行になっている、その中で冬場の観光が落ち込むだろうということ。今、実行されてない修学旅行が3月31日までにしないといけない。体験など含めた中で客単価が1万円以上で非常にいいらしい。3月31日までに予算を消化しないといけないというのと、GoToキャンペーンが修学旅行は3月31日まで延長。マイクロツーリズム、近場で他所は県内で修学旅行の体験をさせている。観光協会としても天草島内でタイアップして商品を作り、今からでも間に合うので、どんどん観光協会でも小中学校へ営業に行くべき。1月、2月、3月対策。県内は実行されてないので、今からが集中する。そこに目を向けたところが勝ちですと日本旅行から聞いた。

(事務局 赤木)

イルカウォッチングは、各社直接オファーがあつてるんじゃないかと思う。修学旅行だと旅行会社との契約が絶対条件になるので、実際にも天草にもかなり相談があつてると情報としても入っている。

(濱崎宗治理事)

修学旅行の組織、教育旅行なんかとタイアップしてせつかくのチャンスだから、民宿とかも体験となれば潤ってくる。

(田口副会長)

5,000万円については、理事の方々が言われたように、用途別、地域別でうまく具合に割振っていただければと思う。少し地域性も加味していただければ、5,000万円については、幅広く業者に恩恵が受けられれば

(濱崎宗治理事)

予算が付いたなら、結果を出さないと何も言えない。

(山本会長)

いつまでにと言われているの。

(事務局 赤木)

**(一社) 天草宝島観光協会**

9月中旬と言われてるが、まだまとめようがないので、一旦市に現状を報告したいと思う。GoToとの並行、熊本県からもくまもつと泊まろうキャンペーンが8億円程余っているので冬場に導入したいとのことで、そうなるともた大混乱が起きるのでそこらへんを提言したいと思う。

(馬場理事)

コロナ対策特別委員会としても意見を出していかないといけないと思う。

(崎本理事)

イルカセンターができていますが、案内所があっても案内できる職員がいないので、できたら観光協会から行って貰うとか、牛深には観光協会職員がいるように。

今、10倍、20倍の方がイルカセンターに来てると思うが、観光協会から出向してるのはどこか。

(事務局 赤木)

臨時職員は牛深に。

(崎本理事)

1人だけか。崎津は漁協か。

(事務局 赤木)

崎津ガイドセンターは市が。

(崎本理事)

そういうのから見て10倍以上のお客さんが来ている、案内もままならないような状態になってるもんだから、イルカセンターに観光協会からか市の方からかどうかならないかとお願いが来ている。観光協会が一緒になって市の方をお願いに行ってもらえないか。

(濱崎宗治理事)

指定管理受けたらいいと思う。

(山本会長)

言われたように、指定管理を受けているのは漁協で、イルカウォッチング業は、新しく作られた所が受けられてて、職員を派遣するのは実質的に不可能と思うが、観光業務が大変なので、できてないという話は聞いているので、市と話をして貰っていいと思う。失礼な言い方だが、観光業の素人である漁協さんが受けられたこと自体で、難しい部分があったと。観光の方がインフォメーションを観光協会に受託というか、仕事として出されて、人件費を賄えるだけのお金を頂いてインフォメーションする。という話になれば可能だが、それは予算的に難しいと思うので、そこ

も含めて話をして。例えば漁協の職員さんが研修に来て観光業務を学ぶとか、指定管理を受けている漁協も含め予算等も含めて話をしていかないといけない。うちが派遣をするのは難しいので、全部の指定管理の所に職員を出すとか取り止めのないことになる。イルカウォッチングに多くの観光客が来られ、お客様がご不便を感じているのは本当なので、何か改善をしないといけない、市にはその話をしていかないといけない。指定管理料で賄えないのであれば、その分プラスしないと観光は担えないということは、私達から言えるんじゃないかと思うので、そういうところはきちんとしていきたいと思う。只派遣とかは今の段階じゃ難しい。

(崎本理事)

何か方法がないか、イルカインフォメーションと観光協会も入って貰って市にお願いするとかしていただきたい。

(田口副会長)

ちょっと説明します。漁協が市から指定管理を受けられたが、イルカセンターの指定管理料は今0。その中で観光案内業務契約の中にはあると聞いている。受託の中に観光という項目もあると。現状、あれだけの人数が来て、観光の循環型の拠点ということもあり観光に来られた方は満足なんじゃないかなと、只観光のことについては素人なので。

(濱崎宗治理事)

観光協会イルカセンターに移してはどうか。

(田口副会長)

それも最初はあった様だが、市が断ったらしい。今崎本理事がおっしゃるよう行政に対してどうアプローチをしていくかといことで応援してくれませんかということ。ここで承認を貰い進めていきたい。

(山本会長)

きちっとしたデータとかあれば見せて貰い指定管理業とか、人をどれだけ使ってるか全くわからないことには私達も後押しができない。

(田口副会長)

観光のプロがないので、こちらからアプローチしていかないと、どれだけ大変かというのが分からない。パンフレット置いておけばいいということではなくパンフレット持って並ばれてここはどうやって行けばいいんですかとか聞かれる。

(濱崎宗治理事)

それは市長に言った方がいい。

(松本國雄理事)

それは指定管理受ける時から間違っている。きちんと受入態勢を考え職員を配置するとかしないと、今ごろになってから観光協会にって言われても。

(田口副会長)

例えばお客様がスタンプを元に戻さず、違う場所に置いたら大騒動になり私がそれを探さないといけない。只お客様の数はかなり多いと思う。たまたま下田とか、牛深とか派遣されたりしているの、その状況を聞いて

(濱崎宗治理事)

派遣ではない。

(田口副会長)

そういうのを確認していただいて、こういう風にした方がいいとかより良い方法を聞いて聞いてアプローチしたほうがいい等、理事の皆さんの承認を頂きたい。

(山本会長)

天草から牛深まで。また長崎から鹿児島まで聞かれる。フェリーの時間まで教えないといけないので、その大変さはよくわかるが、できることとできないことがあり、できることをどうすればいいか一番いい形になるように。指定管理料が0だという話も聞いてないので、それでやれるのか、どういう形なのか分からないとこちらもできないので、1回きちんと話を聞いてからというのがいいと思う。

(崎本理事)

案内所のスペースはあるが、人はいない(人件費なし)

(田口副会長)

今は新しい事業体からの人が対応している。

4 閉会

(田口副会長)

本日は有意義な会議ができたと思う。理事の皆さんにおかれましては、当初冒頭にもあるようにある程度都合をつけて出席していただき、理事会で議論をすべきことはする。結果について事務局は決まったことに対してきちんとやるというのが事務局職員の仕事だと私は思う。そのあたりを加味していただき今後に活かしていただければと思う。今日は来年度予算についての審議等ありがとうございました。

**(一社) 天草宝島観光協会**